

【オリコンサルらと守谷市 10年の長期包括委託 上下水道維持管理 コンサル業務も追加】

10年の長期包括委託

上下水道
維持管理

コンサル業務も追加

オリコンサルらと守谷市

オリエンタルコンサルタンツは、上下水道管理で国内初の10年間という長期の拡大型包括管理に参画する。同社とグループ会社の中央設計技術研究所（西原秀幸社長）を構成企業とし、ウォーターエージェンシー（榊原秀明社長）を代表企業とする共同企業体として、茨城県守谷市と「守谷市上下水道施設管理等包括業務委託」の契約を結んだ。業務期間は2023年4月1日から33年3月31日まで。

業務では、上下水道と農業集落排水施設管理の包括委託に、計画や設計、施工監理などコンサルタント業務を追加。予算項目を横断した効率的な運営管理による事業費削減や、コンサル業務導入による交付金や補助金活用の最適化、O&M（運営・保守）企

業とコンサル企業連携による効果的、実効性が高い事業運営、維持管理情報に基づく効果的な修繕計画、ストックマネジメントやアセットマネジメント計画立案などに、DX（デジタルトランスフォーメーション）技術を駆使して取り組む。

ウォーターエージェンシーはO&M全般とストック・アセットマネジメントに関わる設備リスク評価、コンサルタント業務補助を担当。オリエンタルコンサルタンツは下水道に関わるコンサルタント業務、中央設計技術研究所は水道・下水道に関わるコンサルタント業務をそれぞれ担う。